



大正初期 二月堂と良弁杉 奈良名勝写真帖より



昭和 42 年 植樹された良弁杉 写真撮影：厚見昌彦氏



平成 28 年 雪の二月堂と良弁杉

【10】東大寺二月堂と良弁杉

二月堂では旧暦 2 月（現 3 月）に「お水取り（修二会）」が行われる。二月堂は兵火には焼け残ったが、寛文 7 年（1667）お水取りの最中に失火焼失した。2 年後再建されたのが現在の建物。

良弁杉

東大寺創建に尽力した良弁僧正にまつわるお話で、鷲にさらわれ二月堂下の大杉まで運ばれ、僧に助けられ修行し名僧となった。この間、杉を父母と思い毎日参拝した。後年この杉の下で母と再会した。

この杉は大正初期大木であったが、昭和 36 年（1961）9 月 16 日第 2 室戸台風で倒壊。その後植え替えられたが、昭和 41 年頃枯れた。

昭和 42 年（1967）3 月 16 日先代を挿し木した苗を植樹した。これが現在の良弁杉。